

作物統計調査
令和6年産水稻の収穫量（青森）

— 10a 当たり収量は623kg —

1 令和6年産水稻の作付面積（子実用）は4万2,400ha（前年産に比べ1,900ha増加）となった。
うち主食用作付面積は3万7,200ha（同3,400ha増加）となった。

2 水稻の10a 当たり収量は623kgとなった。
これは、全もみ数が、田植え後の低温や7月の日照不足により平年に比べやや少なくなり、登熟（もみの肥大、充実）が、出穂期以降おおむね天候に恵まれ良となったためである。

3 以上の結果、収穫量（子実用）は26万4,200t（前年産に比べ1万5,500t増加）となった。このうち、主食用の収穫量は23万1,800t（同2万4,300t増加）となった。

4 農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は103となった。

図1 作柄表示地帯別10a 当たり収量（1.70mmのふるい目幅ベース）

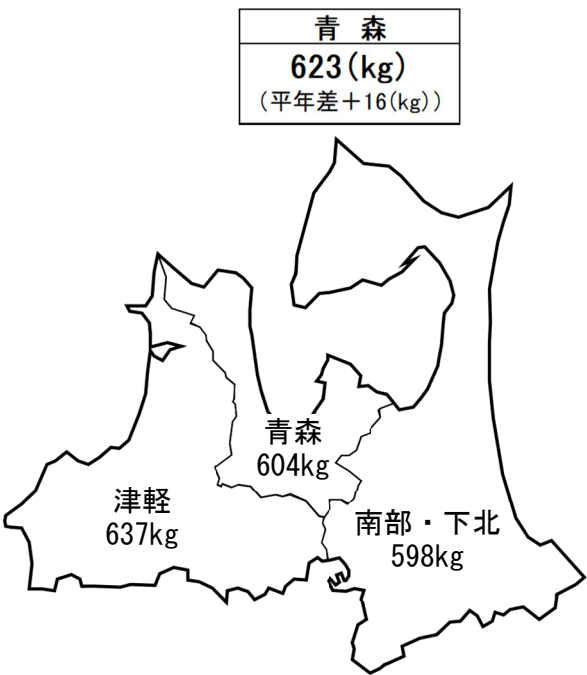
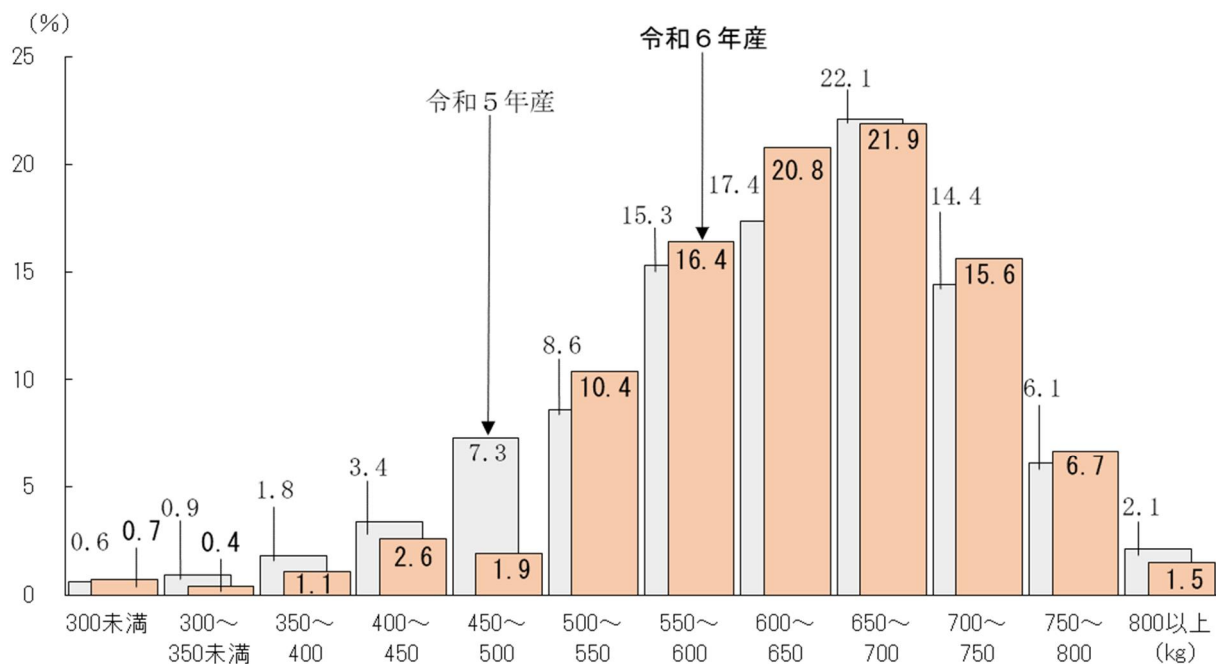


表 令和6年産水稻の作付面積及び収穫量

区 分		作付面積（子実用）			10 a 当たり収量			収穫量（子実用）			主 食 用 作付面積	収穫量 （主食用）	作況指数
		実数	前年産との比較		実数	平年 との比較	前年産 との比較	実数	前年産との比較				
①	対差	対比	②	対差	対差	③＝①×②	対差	対比	④	⑤＝④×②	⑥		
		ha	ha	%	kg	kg	kg	t	t	%	ha	t	
青	森	42,400	1,900	105	623	16	9	264,200	15,500	106	37,200	231,800	103
青	森	5,030	400	109	604	11	5	30,400	2,700	110	…	…	103
津	軽	26,000	900	104	637	10	2	165,600	6,300	104	…	…	103
南部・下北		11,400	600	106	598	32	27	68,200	6,500	111	…	…	106

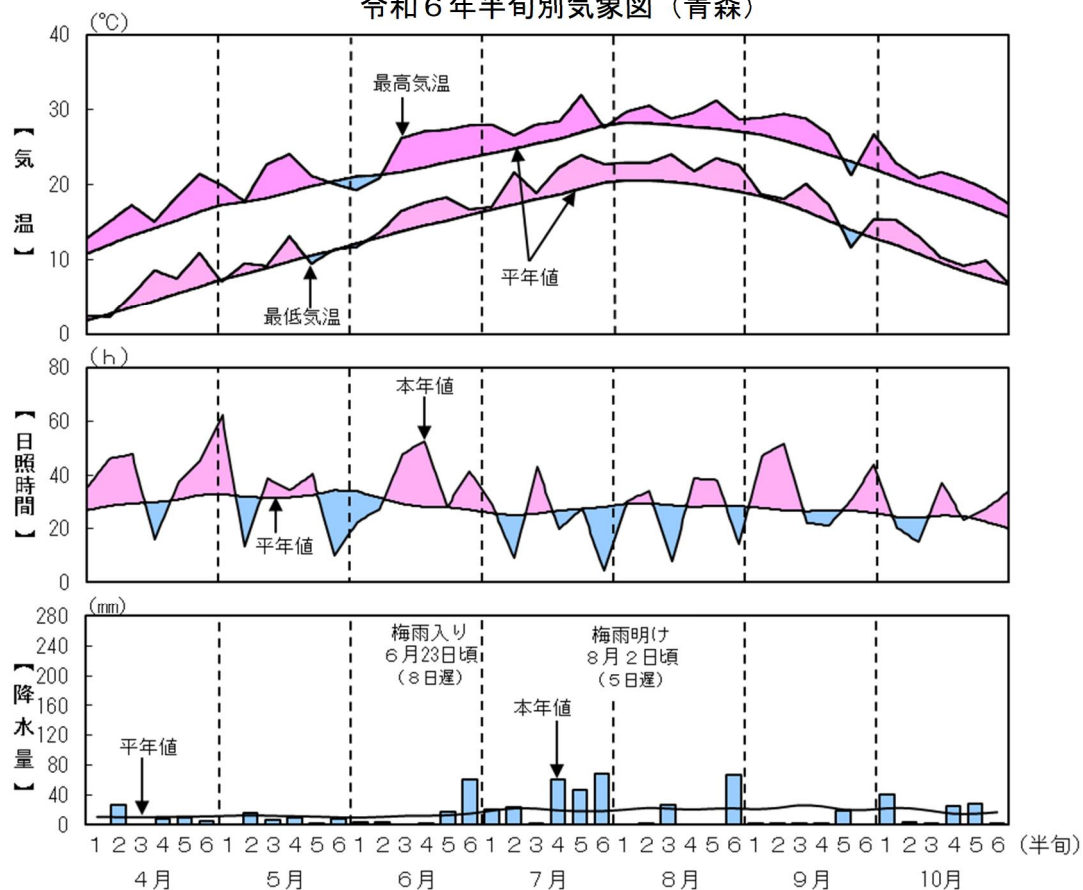
注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、青刈り面積（飼料用米・WC S 用稲等を含む。）を除いた面積である。
2 10a 当たり収量、収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
3 主食用作付面積とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、新規需要米（飼料用米を含む。）、備蓄米、加工用米等の作付面積を除いた面積である。
4 作柄表示地帯別の主食用作付面積及び収穫量（主食用）は、飼料用米、備蓄米、加工用米等の作付面積を把握していないことから「…」で示した。
5 作況指数は、10a 当たり平年収量に対する10a 当たり収量の比率であり、過去5か年（平成30年産～令和4年産）に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（青森県は1.90mm）で選別された玄米を基に算出した数値である。

図2 令和6年産水稻作況標本筆の10a当たり玄米重分布状況（青森）



【参 考】

令和6年半旬別気象図（青森）



資料：気象庁ホームページ

注：（ ）内の日数の遅速は、対平年差である。

お問合せ先

東北農政局 青森県拠点 統計担当

電 話：017-734-5511（直通） 内線 128